

過労死等防止対策推進シンポジウムを開催しました

徳島労働局では、令和元年11月23日（土）、徳島文理大学において、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました。一般参加の方と徳島文理大学の学生約120名が参加して熱心に聞き入り、講演終了後には予定時間を超過するほど多くの質問や意見が寄せられました。

過労死等は、我が国における大きな社会問題として取り上げられているものの、長い間、この課題を解消できない状況が続いています。「過労死等防止対策推進シンポジウム」は県民に広く過労死等を防止することの重要性を周知するために毎年開催しているものですが、今年度は、特に、若者が自身に関わることとして関心と理解を深めてもらえるよう、徳島文理大学において開催しました。

厚生労働省
徳島会場

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死等防止対策 推進シンポジウム

過労死をゼロにし、健康で充実して
働き続けることのできる社会へ

● 日程 2019年11月23日(土祝)
13:30~16:30(受付13:00~)

● 会場 徳島文理大学内 23号館 23303教室
徳島市山崎西戸町180
[定員] 150名

● 報告 徳島労働局基準部監督課
● 講演 「いきいきと働き続けるために
～過労死のしくみと現状を学ぼう～」
岩城 穂氏
「命より大切な
仕事はありません」
寺西 美子氏
● 質疑応答

参加
無料

主催：厚生労働省
後援：徳島県、徳島市
協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議



シンポジウムの冒頭に挨拶する川崎労働基準部長

シンポジウムでは、主催者を代表して徳島労働局川崎労働基準部長が「人の生命はかけがえのないものであり、どのような社会であっても、働くことで命が失われたり、心身の健康が損なわれることはあってはならない。過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会を実現するという使命感をもって、過労死等防止対策の先頭に立って取り組んでまいります。」とあいさつしました。



講演する過労死防止全国センター事務局長岩城氏

講演では、初めに弁護士で過労死防止全国センター事務局長の岩城穰氏が「いきいきと働き続けるために～過労死のしくみと現状を学ぼう～」と題し、過労死の現状やしくみ、過去の過労死事案の問題点を指摘した上で、過労死から自分を守るためには、問題を自分一人で抱え込むのではなく、とにかく相談することだと訴え、参加者は熱心に聞き入っていました。

続いて、「全国過労死を考える家族の会」代表の寺西笑子氏から「命より大切な仕事はありません」と題する講演がありました。ご主人の過労死の体験や6歳の時にお父さんを過労自殺で亡くしたマーくんの事例を紹介し、「命より大切な仕事はありません！過労死は人災、他人事ではなりません。」とまじめに働く人の命と健康を守るために過労死のない社会を目指すことを訴えました。



全国過労死を考える家族の会代表寺西氏の講演

最後に、参加者からの質疑応答が行われました。「パワハラのもっとも多い原因は何か？」、「海外の過労死の実態はどうなのか。」、「過労死から家族を守るためにはどうしたらいいのか。」など、予定時間を超過するほど多くの質問や意見が寄せられました。

6歳のお父さんを過労自殺で亡くしたマーくんが小学校1年生の時に作った詩

《僕の夢》

大きくなったら、ぼくは博士になりたい。
そしてドラえもんに出てくるようなタイムマシーンを作る。
ぼくはタイムマシーンによって
お父さんのしんでしまう前の日にいく
そして、「仕事に行ったらあかん」というんや